

マーケットの動き（2023年10月10日～10月13日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

国内では相場を動かす材料に乏しい中、前週末に約16年ぶりとなる高水準を付けた米国長期金利がFRB（米国連邦準備制度理事会）の年内追加利上げ観測の後退などを背景に低下したことを受け、国内長期金利も低下して週を終えました。

クレジット市場は、需給の緩みが継続した一方、国債金利の低下が支援材料となり売り買いが交錯しました。

投資環境見通し（2023年10月）

国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続く

日銀は当面、現行の金融緩和策を継続するとみられますが、投資家の間では為替や物価動向を注視しつつ政策修正に対する関心が強まり、国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続くとみえています。

| | 10月13日 | 変動幅（騰落率） | | | |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| 10年国債利回り（日本、%） （変動幅） | 0.76 | ▲0.04 | 0.06 | 0.30 | 0.51 |
| NOMURA-BPI総合 （騰落率） | 364.93 | 0.45% | ▲0.42% | ▲2.22% | ▲2.04% |

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

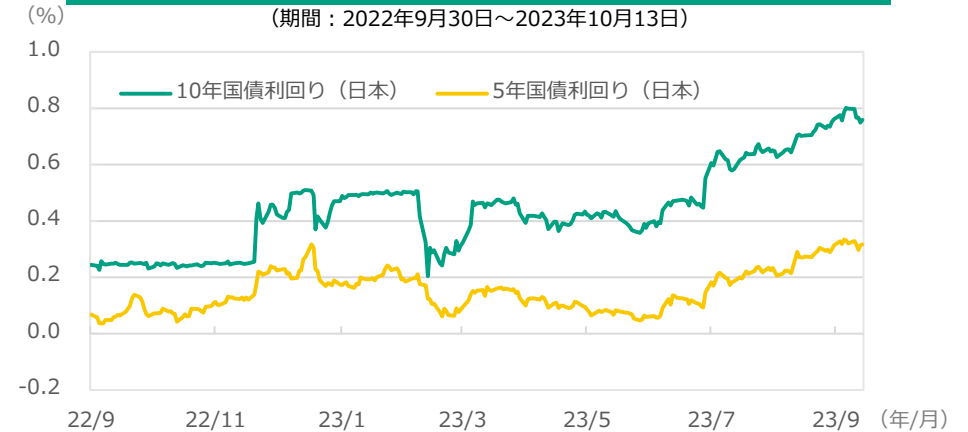
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202310_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月13日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月13日）



※2022年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成